

事業者排出量削減報告書

住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）	京都府八幡市八幡沢1番地								
氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）	城南衛生管理組合 管理者 久保田 勇								
事業者の主たる業種	宇治市、城陽市、八幡市、久御山町、宇治田原町及び井手町のし尿収集運搬及び処理並びにごみの中継運搬に関する業務、焼却処理、破砕処理、埋立及びリサイクル事業								
該当する事業者要件	<input checked="" type="checkbox"/> 京都府地球温暖化対策条例施行規則第10条第1号該当事業者（大規模エネルギー使用事業者（原油に換算して1,500キロリットル以上）） <input type="checkbox"/> 京都府地球温暖化対策条例施行規則第10条第2号又は第3号該当事業者（大規模運送事業者（トラック又はバス100台以上/タクシー150台以上/鉄道車両150両以上）） <input checked="" type="checkbox"/> 京都府地球温暖化対策条例施行規則第10条第4号該当事業者（その他の温室効果ガスの大規模排出事業者（二酸化炭素に換算して3,000トン以上））								
計画期間	20年 4月 ~ 23年 3月								
基本方針	リサイクル啓発による廃プラスチックの混入率の削減や廃棄物削減、ISO活動及びエコ事業所活動（ISO認証サイト以外におけるエコ活動）による省エネ								
推進体制	地球温暖化防止の総合的な推進は、専任副管理者、事業部長、施設部長、事業部理事、環境管理責任者で構成する「地球温暖化対策推進会議」で行う								
環境マネジメントシステム名称	ISO14001								
	適用範囲	八幡市沢1 本庁管理棟他							
	取得年月日	平成13年7月19日							
年度ごとの具体的な取組及び措置の状況	年度	設備、対象、工程等	措置内容						
	20	ISO認証取得内外	ISO活動と連動した省エネ活動、廃棄物発電、管内住民に対するの廃棄物減量啓発						
	21	ISO認証取得内外	ISO活動と連動した省エネ活動、廃棄物発電、管内住民に対するの廃棄物減量啓発						
	22	ISO認証取得内外	ISO活動と連動した省エネ活動、廃棄物発電、管内住民に対するの廃棄物減量啓発						
温室効果ガスの排出量等	排出区分	基準年度（実績） （19）年度 （二酸化炭素換算）	目標年度（計画） （22）年度 （二酸化炭素換算）	増減率 （計画）	報告年度（実績） （20）年度 （二酸化炭素換算）	増減率 （実績）			
	A 事業所等排出区分	3,371.0 t	3,371.0 t	0.0 %	3,355.7 t	-0.5 %			
	B 輸送車両排出区分	t	t	%	t	%			
	C その他排出区分	33,437.0 t	33,437.0 t	0.0 %	32,597.1 t	-2.5 %			
	排出合計	*1 36,808.0 t	*2 36,808.0 t	0.0 %	*4 35,952.8 t	-2.3 %			
	実績に対する自己評価	すでに平成16年度より実行計画を実施しており、老朽化した沢第2工場の閉鎖や、クーン21長谷山の廃棄物発電、さらにはISO14001システムをベースとしたエコ活動の実践等で、順調にCO2の排出削減ができています。							
	原単位当たりの温室効果ガス排出量等	用途区分	原単位の指標	基準年度（実績）	目標年度（計画）	増減率（計画）	報告年度（実績）	増減率（実績）	
		二酸化炭素換算			%		%		
		二酸化炭素換算			%		%		
		二酸化炭素換算			%		%		
	実績に対する自己評価								
その他の地球温暖化対策による温室効果ガスの削減量等	対策等の区分	目標年度（計画）			報告年度（実績）				
		取組量等		（二酸化炭素換算）	取組量等		（二酸化炭素換算）		
	森林の保全及び整備	（整備面積）	ha	（吸収量）	t	（整備面積）	ha	（吸収量）	t
	府内産の木材の利用	（利用量）	m <sup>3</sup>	（削減量）	t	（利用量）	m <sup>3</sup>	（削減量）	t
	自然エネルギーを利用した電力又は熱の供給	（売電量）	kwh	（削減量）	t	（売電量）	kwh	（削減量）	t
		（熱供給量）	GJ	（削減量）	t	（熱供給量）	GJ	（削減量）	t
	グリーン電力の購入	（購入量）	kwh	（削減量）	t	（購入量）	kwh	（削減量）	t
	家庭における温室効果ガス排出量の削減効果分の購入	（購入量）	t	（削減量）	t	（購入量）	t	（削減量）	t
		削減量等合計		*3 t		*5 t			
	差引排出量 （排出合計-削減等合計）	基準年度（実績）	目標年度（計画）	増減率（計画）	報告年度（実績）	増減率（実績）			
	*1 36,808.0 t	（*2）-（*3） 36,808.0 t	0.0 %	（*4）-（*5） 35,952.8 t	-2.3 %				
地球温暖化対策に資する社会貢献活動	広報紙やホームページによる住民啓発。循環型社会に根ざした各種イベントの提供。安心安全な廃棄物処理。リサイクル事業としての剪定枝の販売並びに植樹活動。各地域のパートナーシップへの参画他。								
特記事項	城南衛生管理組合では、平成16年度に実行計画を策定し、基準年を平成13年とし、平成20年度に温室効果ガスを10%削減する目標を掲げている。平成20年度は目標年度にあたり、目標を大きく上回る約20%減を達成した。そのため、京都府への平成22年度目標値は平成19年度と同数値としたがこれ以上の減量はかなり厳しい。また、京都府と城南衛生管理組合の排出係数が異なる。								

注 1 該当する□には、レ印を記入してください。特定事業者以外の事業者の方はレ印の記入は不要です。  
 2 「基準年度」とは計画期間の前年度を、「目標年度」とは計画期間の最終年度を、「報告年度」とは計画期間のうち、今回報告の対象となる年度をいいます。  
 3 「事業所等排出区分」とは京都府内の事業所等の事業活動のためのエネルギーの使用に伴い発生する温室効果ガスを、「輸送車両排出区分」とは自動車運送事業者については使用の本拠の位置を京都府内とする車両の排出する温室効果ガスを、鉄道事業者については保有する貨物車両又は旅客車両の排出する温室効果ガスを、「その他排出区分」とは上記以外の京都府内における事業所等の事業活動に伴い発生する温室効果ガスをいいます。  
 4 「原単位当たりの温室効果ガス排出量等」の「用途区分」には、○工場、事務所などの用途を記入してください。「原単位の指標」には、分子の「二酸化炭素換算」の下に分母となる指標（生産数量、延べ床面積、走行距離等）を記入してください。  
 5 「その他の地球温暖化対策による温室効果ガスの削減量等」のうち「森林の保全及び整備」の「目標年度（計画）」欄には計画期間中の目標の累計を、「報告年度（実績）」欄には実績の累計を記入してください。  
 6 「特記事項」には、平成2年度（1990年度）を基準とした排出量の対比や、省エネ製品開発など他者の温室効果ガス排出削減への貢献、グリーン調達の実用、特定フロンなどの条例指定外の温室効果ガスの削減などを記入してください。